

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	6091	(H.29)No.	6091
-----------	------	-----------	------

事務事業名	常備消防費		
担当部局名	担当室名	室長名	
消防本部	消防総務室	越村 卓也	

会計区分	事業コード	450601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 消防費	常備消防費	
項 消防費	(小事業名)	
目 常備消防費	常備消防費	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	3	安全で安心なまちづくり
	施 策	3	消防・救急
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
消防防災拠点として消防対応力の充実強化を図り、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
事業内容
消防施設・車両等の維持管理や研修による人員育成等を行い、常に24時間体制で複雑多様化する火災、救助事案と高度化する救急事案に対応します。また、火災予防啓発、応急手当の普及活動等を推進します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)			
	・消防本部、消防署の運営 主な経費は、消防施設・車両等の維持管理費、資格取得や研修等の負担金、消防備品の購入費、施設の光熱水費及び車両の燃料費等 ・火災、救急、救助活動の実施 (29年度) 火災件数 19件 救急件数 3,503件 救助件数 38件			・消防本部、消防署の運営 ・火災、救急、救助活動の実施		
	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)			
	・消防本部、消防署の運営 ・火災、救急、救助活動の実施	・消防本部、消防署の運営 ・火災、救急、救助活動の実施	・消防本部、消防署の運営 ・火災、救急、救助活動の実施			

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		78,240千円		85,704千円	85,704千円	85,704千円	85,704千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他( )		855		357	857	857
	一般財源	0	77,385	0	85,347	84,847	84,847
人工数	職員		0.80人		0.80人	0.80人	0.80人
	臨時職員等		0.40人		0.40人	0.40人	0.40人
②概算人件費	0千円	6,640千円	0千円	6,640千円	6,640千円	6,640千円	6,640千円
①+②総事業費	0千円	84,880千円	0千円	92,344千円	92,344千円	92,344千円	92,344千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算が縮減傾向にある中においても、消防施設等の維持管理と職員の資格取得や研修を推進し、複雑多様化する火災、救助事案と高度化する救急事案に対応していく必要があります。</li> <li>・消防施設等の適切な維持管理と職員の資格取得や研修を推進し、火災、救急、救助事案に適切に対処しました。</li> </ul>

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政状況が厳しい中、消防施設等の維持管理経費と職員の研修経費を確保しながら、部内研修や訓練手法等の工夫を行い、消防体制の充実強化を図ります。</li> <li>・消防の運営に必要な経常的経費であり、消防防災拠点として消防対応力の充実強化を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。</li> </ul>

6. 事務事業の取組に関する市の計画